

日本列島を 宝島に。

ここ数年で、「都市鉱山」という言葉をよく耳にするようになりました。
「廃棄された家電やIT製品には、
金、銀、銅、鉛、インジウムなどが大量に含まれ、
これらをすべて回収できれば日本は世界有数の資源大国になれる」
そう知りながらも、現在の技術ではリサイクル精度に限界があり、
都市鉱山の発掘は、思うように進んでいません。

そこで私たち近畿工業は、メカノケミカルという技術に着目。
2014年2月「近畿メカノケミカル研究所」を開設します。

メカノケミカルとは、物質をナノレベルまで粉碎する過程で
与えるエネルギーにより、化学的变化を誘起する処理方法。
従来の加熱・溶融などによる熱化学反応よりも
はるかに大きなエネルギーが得られるため、
リサイクル精度の向上はもちろん、
これまで難しかったレアメタルの回収なども、おおいに期待できます。

『砕く・剪る・選ぶ』 + 『メカノケミカル』

近畿工業のコア技術に化学的アプローチを加えることで、
都市鉱山をはじめあらゆる廃棄物の新たなリサイクル技術を開発し、
循環型社会の形成に貢献してまいります。

さあ、果たして、10年先の日本は世界有数の資源大国になれるのだろうか。
私たちの挑戦に、ご期待ください。

—— 廃棄物から日本の未来を考える ——

近畿メカノケミカル研究所

2014年2月24日竣工

